

トピックス

PR施策の強化

J Aバンク兵庫では、各種PR施策の強化に取り組んでいます。

■ キャンペーンの実施(2023年4月3日～2025年3月31日)

J Aバンク兵庫では、組合員・利用者向けに以下キャンペーンを実施しています。

- ・資産形成・運用
NISA口座を開設した方に商品等をプレゼントします。



©よりぞう

■ PR展開

- ・各種媒体による広告(ホームページ、動画広告、WEB広告)

J Aバンク兵庫のホームページを通じた県内施策のPRのほか、YouTube等への動画広告及びインターネットを活用した各種WEB広告を展開しました。

(J Aバンク兵庫ホームページ)



(動画広告)

・YouTube

・TVer(2023年9月～12月)



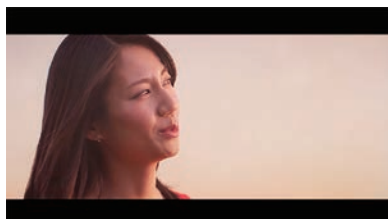
(WEB広告)



©よりぞう

■ テレビCM

J Aバンク兵庫はJ A共済連兵庫と共同でサンテレビ「ニュースSUNデー」に提供を行っており、J Aネットローンや疾病保障(補償)付住宅ローンを題材にしたCM、食と農業を支えるJ Aバンクを象徴するCMを放送しました。



【人生によりそう歌篇】



【人生をささえる歌篇】

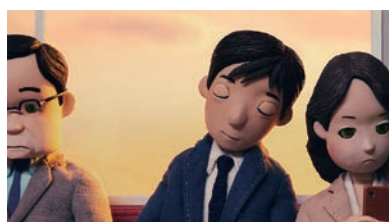
©よりぞう



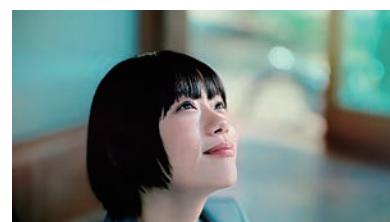
【農業Loves you 総集編2016～19篇】



【J Aネットローン松下先生篇】



【がんばるパパ篇】



【暮らしのあしたもよろしく篇】

■ デジタルサイネージの掲載(JR姫路駅)

JR姫路駅の中央改札にあるデジタルサイネージに各種施策の広告を掲載しました。

【2023年度掲載(一例)】



©よりぞう



■ ラッピングバス

県内各地でラッピングバスを運行しました。



©よりぞう

■ 兵庫県高等学校駅伝競走大会への協賛

J Aバンク兵庫は、兵庫県高等学校駅伝競走大会の出場選手を応援しています。



地域貢献への取り組み

1. 地域に対する当会の考え方

当会は、兵庫県を事業区域とし、県内ＪＡ等が会員となってお互いに助け合い発展していくことを共通の理念とした相互扶助型の農業金融機関であり、地域経済の活性化に取り組む地域金融機関です。

農家組合員の皆様の経済的・社会的地位の向上を目指し、ＪＡとの強い絆とネットワークを形成することによりＪＡ信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めています。

また、金融機能の提供にとどまらず、環境、文化、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に取り組んでいます。

2. 地域からの資金調達の状況

当会の2023年度末の貯金残高(譲渡性貯金を含む)は、5兆6,474億円で、兵庫県内に本店を有する金融機関としては最大の資金量を有しています。当会の資金はその大半が県内ＪＡの貯金を原資としていますが、資金調達手段の多様化を図ることで、常時安定した調達が可能となる体制を構築しています。

また、組合員を含めた地域の皆様の計画的な資産形成をお手伝いさせていただくため、目的に応じた各種貯金や国債、投資信託等の商品を取り扱っています。

3. 地域への資金供給の状況

当会の資金は、農家組合員やＪＡ・農業に関連する企業・団体、また県内の地場企業や団体、地方公共団体等に利用されています。当会の2023年度末の貸出金残高は1兆718億円で、貸出先別の内訳は、会員等向け64億円、地方公共団体等向け782億円、その他事業者等向け9,872億円となりました。

<事業者等の経営支援に関する体制整備>

当会は、お客様からの新規融資や貸付条件の変更等の申込みに対し、円滑に対応できるよう、必要な体制を整備しています。

具体的には、理事長以下、全常勤役員、関係部長を構成員とする「コンプライアンス委員会」にて、金融円滑化に係る対応を一元的に管理し、組織横断的に協議しています。また、法人営業担当常務理事を「金融円滑化管理責任者」とし、営業各部には「金融円滑化管理担当者」を設置し、当会全体における金融円滑化の方針や施策の徹底にも努めています。

地域企業の相互交流

当会は、各業界のトップや話題人をお招きしての講演と異業種交流の場として、兵庫信連エグゼクティブセミナーを開催し、お客さまの経営に役立つ情報の提供を行っています。

また、地域密着型の交流会や工場見学会等を開催する「みのり会」、若手経営者・後継者の学びの場である「次世代経営塾」を通じて、お客さま同士の情報交流を促進しています。



ビジネスマッチング

新たな販売先・仕入先の紹介等、取引先企業の様々なニーズに対応するために、ビジネスマッチングに積極的に取り組んでいます。

4. 文化的・社会的貢献に関する事項

環境保全・食農・金融経済教育に係る教材本の贈呈

J Aバンクでは、次代を担う子どもたちに「環境」「食」「金融経済」の多面的な視点から、農業への理解を広げてもらう取組みの一つとして、「農業とわたしたちの暮らし」のタイトルで補助教材を作成し、県内公立小学校の5年生及び特別支援学校(計約5万人)に贈呈しました。



金融教室の開催

J Aバンク兵庫では、金融教育活動の一環として子どもたちに「お金の大切さ」を伝え、「貯蓄や働くことの大切さ」や「保護者への感謝の気持ち」について考える機会を提供するとともに、J Aに対する理解を深めてもらうために、親子でお金について学ぶ「J Aバンク兵庫親子金融教室」を開催しています。

また、2021年度から次代の兵庫県農業を担う高校生を対象に、これから就職や進学を控え、ひとり立ちしていくために必要となる金融・経済等に関する基礎知識の提供を目的として、「農業高校生向け金融教室」を開催しています。

(親子金融教室開催の様子)



「自然環境を大切にしよう」ポスターコンクールの開催

J Aバンク兵庫では、次世代を担う小・中学生が自然環境の大切さを理解すること及び、児童・生徒の図画教育への貢献を目的として、「自然環境を大切にしよう」ポスターコンクールを開催し、2023年度は県内の小・中学校212校から4,486点の応募をいただきました。なお、入選作品はJ Aバンク兵庫ホームページに掲載しています。

<2023年度受賞作品>



▲小学校低学年の部 金賞作品



▲小学校高学年の部 金賞作品



▲中学校の部 金賞作品

「ＪＡバンク兵庫サッカー教室」の開催

～2023年度は12会場で開催し、約800名の子ども達が参加～

ＪＡバンク兵庫はプロサッカーＪリーグ「ヴィッセル神戸」のオフィシャルパートナーです。地域密着を目指し、県内各地区でヴィッセル神戸専属コーチによる「ＪＡバンク兵庫サッカー教室」を開催しました。



各職場でのボランティア活動

地域貢献活動の一環として、職場単位でのボランティア活動や当会全体でのペットボトルキャップ回収を実施しています。

ペットボトルキャップを外して処分することによるペットボトル本体の再資源化率の向上とともに、回収したキャップは、回収団体に送付することでポリオワクチンと交換(2023年度は24,983個のキャップを回収し、31.2人分のワクチンと交換)が可能になります。

地域の活性化や農業振興のために事業を行う各種団体への参画と支援

(公財)ひょうご環境創造協会・(一社)兵庫県農作物改良協会・(公社)兵庫県緑化推進協会などの各種団体の活動に参画し、地域の活性化や農業振興を支援しています。

ＪＡバンク兵庫のホームページでも、地域貢献への取り組みをご紹介します。

ＪＡバンク兵庫のホームページアドレス
https://www.jahs.or.jp/chiiki_kouken/

環境保全への取り組み

近年、便利さや快適さの追求に伴う地球への環境負荷増加により、「地球温暖化」など重要な環境問題が顕在化し、次世代にまで影響を及ぼす大きな問題となっています。

当会は、環境保全活動を重要な経営課題として認識し、電気、紙の使用量削減をはじめとした省エネルギー・省資源、廃棄物の減量化、分別回収、グリーン購入などに取り組んでいます。

また、上記のような直接的に環境保全につながる活動に加え、間接的・環境側面の取り組みにも重点を置き、当会職員がより意識を持って環境活動に参加する取り組みを実施しています。